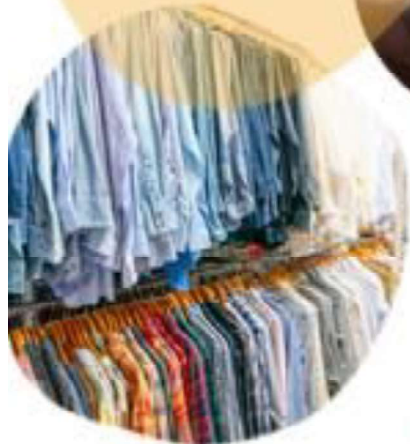


岩田屋三越の
サステナビリティ
の考え方

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



九州、アジアの“高感度上質消費”において岩田屋三越が最も支持され、お客さまの人生・暮らしが豊かになっている。

岩田屋三越は、“長期に目指す姿”の実現に向けた企業活動を通じて社会問題の解決に貢献いたします。

「岩田屋」は1936年の開店から80年余り、「福岡三越」は1997年の開店から20年余りにわたり福岡・天神の地で商売を続けてまいりました。

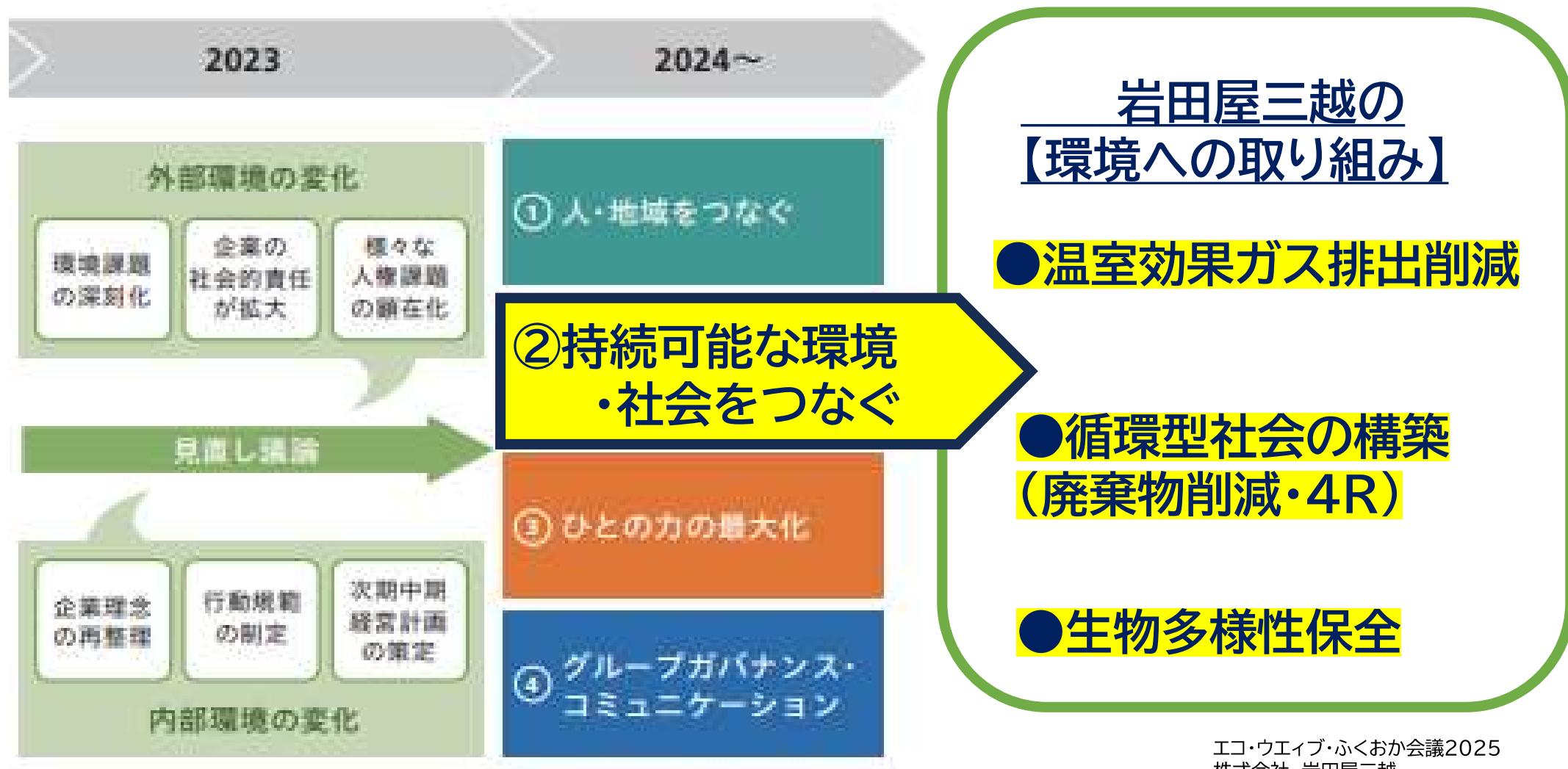
岩田屋の社是である誠実奉仕、良品正価を忘れず、また三越が創業以来持ち続ける“まごころの精神”にのっとり、これからも「お客さまのために」、九州の人々の豊かな未来と持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティを推進してまいります。

サステナビリティと中期経営計画との一体化

= 経営計画と結びついた重点取り組み(マテリアリティー)の実行



岩田屋三越 サステナビリティ経営 重点取り組み(マテリアリティー)



岩田屋三越の【環境への取り組み】

●温室効果ガス排出削減

2050年度の長期目標「温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向け 新技術を積極的に採用しながら「省エネ」「創エネ」「再エネ」の3つを軸に取り組みを進めております。

●循環型社会の構築 (廃棄物削減・4R)

循環型社会構築のために、4R(Refuse、Reduce、Reuse、Recycle)、廃棄物削減などにも取り組んでおります。毎年実施しているお客さまアンケートの結果からもこの分野への関心が高く、取り組みの発信も進めてまいります。

●生物多様性保全

『岩田屋三越ファーム』 ・福岡三越 屋上養蜂 ・お米作り ・お茶栽培 そして生産物の販売を通して 地域での生物多様性保全活動に取り組んでおります。

●岩田屋三越 温室効果ガス排出削減の取り組み（当社事例）

温室効果ガス排出量 概算値 2013年比 47.3 %（2024年速報概算値）

①『再エネ』

電力会社 再エネプランや 非化石証書を活用した 使用電源の再エネ化
「岩田屋本店」「郊外店」「岩田屋三越本社ビル」100%再エネ化達成

- (1)テナント(海外ブランド)の環境配慮ニーズ 後押し テナント出店与件となっている。
- (2)建物オーナーとの再エネ化協議を進めた。
- (3)水道光熱費予算確保 コスト増・環境配慮への社内理解を進めた。

②『省エネ』

社用車の脱ガソリン化 ガソリン使用量 2013年比 46.7%

- (1)エコカー導入 EV車 シェア17.9%、ハイブリッド46.6% 脱ガソリンを促進

※2027年までに純ガソリン車 0台へ

- (2)車両削減 スマホアプリで車両予約・運行管理し、シェア促進・余剰車両削減

③『創エネ』

ごみ分別による、発電資源としての利用 研究中。食廃油のバイオディーゼル燃料化実施中。

●循環型社会の構築（廃棄物削減・4R）（当社事例）



●フードロス削減（当社事例）

災害用備蓄食料 の フードバンクへの寄付

（災害帰宅困難者等備蓄食 賞味期限入れ替え時）



特定非営利活動法人
フードバンク福岡

〒814-0122 福岡市城南区友泉亭1-21



エコ・ウェイブ・ふくおか会議2025
株式会社 岩田屋三越

● 廃棄物分別 食品リサイクル率アップ ➡ 燃やすごみ削減

①飼料化 ②再燃料化 分別廃棄の促進 ③ 店内ごみ箱集約

厨房ごみ3種分別基準

2025年2月1日

リ
サ
イ
ク
ル

【食品・食材】

ブルー ごみ袋

➡ 養豚の飼料



調理時の残渣・切れ端

✕ グリストラップ 網かご残渣はダメ!!



パン・野菜・果物 等



処分品(期限切れ・売れ残り)



【プラ・ビニール】

透明 ごみ袋

➡ 再資源化



パッケージ・梱包 等



袋・エアキャップ 等



トレイ・ボックス・カップ 等



廃
棄
処
分

【可燃ごみ】

ピンク ごみ袋

➡ 焼却(消滅)



リサイクル対象外

○ グリストラップ 網かご残渣はココ!



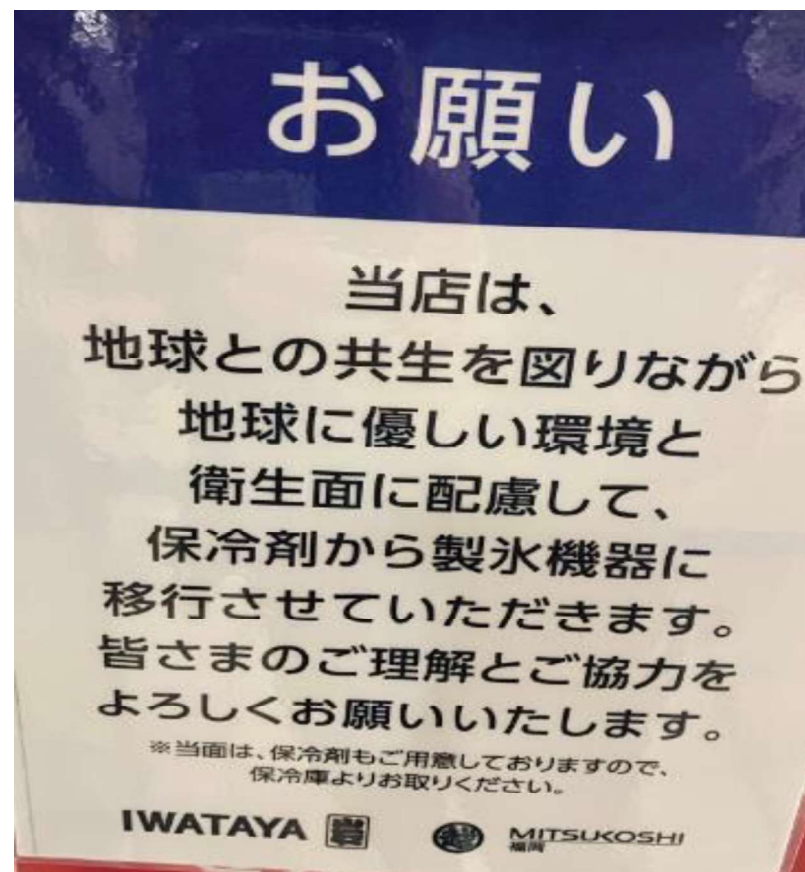
クッション材・包材 等



ビニールひも類



● 家庭ごみの削減 食品売場 保冷剤から製氷への移行お願い



●生物多様性保全

『岩田屋三越ファーム』

・福岡三越屋上養蜂

・お米作り

・お茶栽培

岩田屋三越で働く従業員が生産・販売を通して 地域での生物多様性保全活動に取り組んでいます。



エコ・ウェイブ・ふくおか会議2025
株式会社 岩田屋三越